

『老後の資金がありません』  
中央公論新社 垣谷 美雨／著

娘の結婚、舅(しゅうと)の葬式、姑(しゅうとめ)への仕送りで、こつこつ貯めた老後の資金が消えていく。さらに、夫婦そろってリストラされ、大ピンチの後藤家。篤子は、節約のために姑との同居を決断する。不安ばかりの毎日、友人のサツキと家計の話をしては、今までの支出が本当に必要だったのか思い悩む。ある日、サツキから「姑を貸してほしい」と依頼される。戸惑う篤子をよそに、姑は引き受けてしまい……。



家族に振り回されながら奮闘する篤子の姿は、状況に応じて生活を変えていくことの大切さを教えてくれる。これからの自分に合った暮らしを考えたい一冊。